

お手入れ（クラリネット）

クラリネット 木製の管体は温度や湿度の変化に影響を受けやすく、構造も複雑。丁寧なお手入れが必要です。

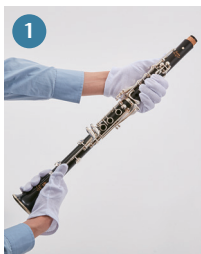
■ 組み立ての前に



ジョイントのコルクにコルクグリスを薄くぬります。緩すぎて抜けそうになるときや、きつくて入らないときは無理せず技術者のいる楽器店に相談しましょう。

■ 演奏前の注意

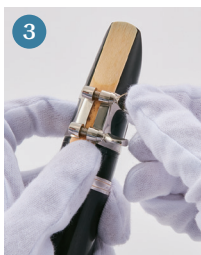
演奏の準備



1 組み立てるときはキイに力が加からないように気をつけて持ちましょう。



2 上管と下管をジョイントするときは左手でキイを押さえ、連絡キイの位置を縦に揃えます。



3 マウスピースやリードは先端をぶつけないよう注意しましょう。リガチャーはゆがみやすいので落とさないようにしてください。

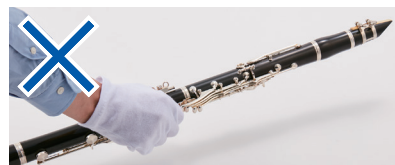


4 リードはマウスピースがほんの少しだけ見える高さにセットしてください。
※リガチャーは製品により留める位置や向きが異なります。

楽器の置き方



練習の合間に楽器を置く場合はスタンドに立てるか、人や物がぶつからないように注意して安定した角度で置きましょう。



椅子や机に置く場合はキイやトーンホールが下を向かないようにしましょう。キイが曲がってしまうことがあります。

■ 演奏後のお手入れ



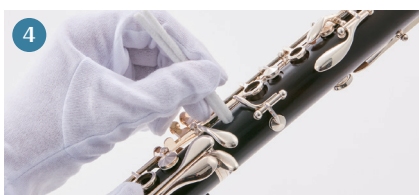
1 スワブはしわを伸ばしてゆっくり通しましょう。詰まったりしたら、それ以上引っ張らずに入れた方向から戻しましょう。紐に結び目ができたらほどいてください。



2 タンポとトーンホール（音孔）の間に水分が溜まると雑音の原因になります。クリーニングペーパーを挟んでキイを軽く数回押さえ、水分を取り去りましょう。キイを閉じたままペーパーを引っ張らないようにしてください。



3 タンポがベタつく場合はパウダーペーパーを使いましょう。パウダーペーパーはタンポが乾いてから使うようにしてください。パウダーがタンポに付くようペーパーの向きに気をつけてください。



4 ホコリの溜まりやすいトーンホールの内側やキイの間などをトーンホールクリーナーでやさしく掃除しましょう。2つに折り曲げて中心の金属が楽器に当たらないよう、またバネを引っ張らないよう注意して使いましょう。



5 キイや管表面に付いた汚れや指紋をポリシングクロスで優しく丁寧に拭き取りましょう。



6 グリスを拭き取り、ケースにしまって完了です。